

令和元年度 学校評価のまとめ

昨年度の重点目標	自ら学び、自ら考える力など、「生きる力」の育成を基本とした、知・徳・体のバランスのとれた教育を展開し、健やかな体と豊かな人間性を備えた生徒の育成を目指す。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学習指導 (教務部) (各学年会)	確かな学力を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる授業」の実施 ・「学習強化期間」「居残り学習会」の設定 	授業アンケートをやめて教材研究の時間を取りやすくしたり、研究授業を促進したりしました。アンケートの結果は8割弱がわかりやすいということで例年通りとなりましたが、今後も授業改善や学習に向かう姿勢づくりに取り組んでいきたいです。
		<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の確立の確立に向けた指導 ・課題設定・点検の工夫 ・学習意欲の向上に向けた指導 	学習計画表を配布したり、課題を工夫したりしましたが、アンケートで家庭学習時間は減りました。課題の提出は学年の指導が効果的で8割強が提出できるようになりました。学校の学習環境は概ね整っていると回答がありました。学習環境を整備しながら、学習習慣の確立に向けて取り組んでいきたいです。
進路指導 (進路指導部) (各学年会)	学年、進路希望に応じた進学就職ガイダンスなどを通して、進路意識の高揚を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・進路情報の提供 ・面接指導の重視 	進路指導への取り組みに関して、教員、保護者から概ね良好な評価をいただいているが、まだ十分な周知ができていないと言えない。進路情報の提供を強化し、進路指導への理解を深めてもらいたい。就職は1次募集の内定率も良好で、就職指導の成果が出ていると感じています。今後も、この流れを継続したいと思っています。
		<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験 ・外部講師による講話の設定 	3年生を対象に行った消費者教育や主権者教育など社会人としての素養を高める講話は必要だと感じます。1、2年生を対象に行ったキャリア教育セミナー、インターシップなど校外での体験的学習も進路ガイダンスとして効果的であると考えています。
生徒指導 (生徒指導部) (各学年会)	基本的な生活習慣を確立させる	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻防止指導の実施 	「身だしなみ指導」「遅刻指導」がきちんと行われていますかの問いに対して78%の生徒がそう思うと答えています。割合からクラスに4人程度指導が必要な生徒がいることとなります。ピンポイントに継続的に指導をして90%を目標にしたい。
	規範意識や一般的マナーに対する意識を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点や駅での立番指導の実施 ・校外巡回指導の実施 ・コミュニケーション能力の育成 	「マナー」「モラル」に関しては基本的な知識がないのではないかと思います。就職する生徒が多い中、指導の必要性を感じます。全職員が共通理解のもとで、一致団結した指導体制を確立していきたい。
生徒会活動 (生徒会部) (各学年会)	行事、部活動へ積極的に参加させ帰属意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な部顧問会議の実施 ・部日誌を活用した部員状況の把握 ・部活動だよりの発行 	行事、部活動に参加している積極的に参加している生徒もいるものの、無関心な層が増加しているのが気になります。部活動、行事の意義を指導していくとともに多くの生徒が前向きに取り組めるよう指導を続けます。
PTA活動 (総務部) (各学年会)	保護者への確実な情報伝達を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・各種案内文書の工夫 ・メール配信 ・「廣表」/ホームページの充実 	案内文の配布とメール配信を同時に行うことで確実に情報伝達ができている。年3回の広報誌とホームページにより学校の状況を保護者および地域に公開できている。今後ホームページの更新頻度を多くしていきたい。
	保護者へPTA関係行事への積極的な参加を促す	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の形態の検討と内容の充実 ・ホームページの充実 	PTA理事会においてPTA行事など意見交換を行い、役員と理事との良い情報交換の場ができています。行事は、役員・理事を中心に文化祭の食品バザーや闊歩大会など多くの保護者の方に協力いただき充実した活動ができています。今後の活動も学校配信メールやホームページを利用して、活動内容等をお伝えしていきたいと思えます。
学校保健活動 (保健相談部) (各学年会)	環境美化への意識を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備、環境美化の徹底 ・教室内に分別用の箱の設置 ・通学路・地域清掃活動の実施 	地域清掃の朝日連区クリーン作戦に参加し、地域の方々や小学校の児童とともに清掃を行った。環境について考えるよう機会であり、今後も取り組んでいきます。校内の美化については、生徒による評価が下がった。校内美化についての今後の取り組みを考えていく必要がある。
	自らの健康に対する意識を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の事後指導の徹底 ・「保健だよりに」による広報 ・教育相談との連携 	歯科・眼科の事後措置については、受診報告を年3回行っているが、受診率は低く、20%程度となっています。自己健康管理に努めていると思っている生徒は、60%程度です。健康への意識を喚起するよう、「保健だよりに」を毎月発行しています。
いじめ防止 (いじめ・不登校対策委員会)	互いに認め合える人間関係をつくり、集団の一員としての自覚と自信を身につけさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止に向けて教育相談アンケートの実施と情報把握 ・学年会と教育相談との連携 	年に2回教育相談アンケート、保健相談部での情報交換を密に行うなどしていじめ防止に向けての情報を把握しています。そして、担任や学年の教員、スクールカウンセラーと協力して人間関係によるトラブルに対応できました。今後も協力して指導にあたります。

図書館活動 (図書部) (各学年会)	読書習慣を身につけさせ、豊かな人間性を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の実施 ・購入希望図書の調査、選定 ・「図書館報」の発行 	朝の読書への積極的な参加について、80%近くの生徒が肯定的な回答をしています。一方、図書館を利用するという生徒は、10%程度にとどまっています。今後とも図書館資料の充実を図り、利用しやすい図書館づくりに努力していききたいと思います。
研修 (教務部) (各教科会)	授業力・教師力のアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業の実施 ・授業参観の奨励 ・教科会での情報共有 	今年も学習強化期間では活発な授業参観が行われ、授業力の向上が図られました。教科検討会を実施して学び直しについて話し合うことができました。アンケートでは学習習慣の確立に向けて、まだやれることがあるとあったので来年度への課題としたいです。
安全教育 (総務部) (各学年会)	防災に関する意識を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・本校にあった防災計画の作成 ・市/連区と連携し避難場所設置についての運営計画を立てる ・防災備蓄品の購入 ・防災(避難)訓練の実施 	生徒用の災害時備蓄食料を備えました。1学期には大規模地震の発生による火災を想定した防災避難訓練を実施しました。同時に防災対策などの指導を行ったが、半数以上の家庭で十分な対策が取られていなかった。今後は、防災意識を高めるための指導を工夫していきたい。
多忙化解消	勤務時間を管理し、長時間労働による健康障害防止	<ul style="list-style-type: none"> ・在校時間の把握 ・業務の適正化 	昨年度、本校教員の80時間を超える在校時間は4.5%であったが、今年度(12月末現在)は4.1%であり、多少であるが多忙化解消されている。昨年度から取り組んでいる業務のスリム化や削減の効果が徐々に表れてきたと考えている。 また今年度7月から、PTAのご理解をいただき、平日の電話対応時間を朝7時30分～夜8時と設定したことも教員の業務時間削減に繋がっている。 また昨年度策定された部活動ガイドラインの指針により、年間の休養日を104日以上と設定することで、部顧問の負担軽減等を図っており、今のところ概ね守られている。
総合評価	アンケート上では学校の取組の評価はあまり向上が見られなかったが、課題の提出状況が良くなってきたり、遅刻が減ってきたりするなど、学校の状況は改善されていると感じています。今の生徒の現状をきちんと把握して、その状況に合わせた現実的な取組を考えていきます。		

学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施する 主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる授業」の実践を推進し、生徒の学習意欲の高める取組について ・基本的な生活習慣を確立させるための遅刻防止指導について
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境・授業環境の整備を進めているが、まだ生徒の学習意欲を高めるところまでできていない。 ・12月現在の遅刻の総数は693回であり、昨年の1002回と比較しても改善されていると言える。遅刻指数も昨年の2.4から1.8と順調に減っている。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> ・教科検討会で「学び直し」により「わかる授業」につなげていく。 ・受験指導にとらわれることなく、生徒がわかりやすく、興味をもちやすい授業実践を研究する。 ・遅刻のさらなる減少を目指し、数値目標の見直し、遅刻指導強化週間の設定、累積による継続的な遅刻指導などを実施する。
その他(学校関係者評価委員より出された主な意見、要望)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい授業の実践に取り組み、これからの社会を見据えた評価の在り方を考えるとよい。 ・コミュニケーション能力の向上が図れる指導をお願いしたい。 ・教員のストレスは心配している。教員が健全に仕事をできる雰囲気作りをお願いしたい。
学校関係者評価委員会の 構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> ・構成・・・学校評議員とPTA役員 ・評価時期・・・2月上旬